

学校と
家庭と
地域を

つなぐ



三島市立山田中学校

※学校ホームページでもご覧になれます。

学力を高めるための取り組み



本校では、子どもたちの学力の向上を目指し、「学ぶ意欲と表現力」を培う授業づくりを中心に、「なぜ学ぶのか」その学ぶ意義を自分なりにとらえるためのキャリア教育を実践しています。言い換えれば、「学ぶこと」と「生きることや働くこと」とのつながりを深める視点から、子どもたちの将来の夢を育て、「生き方を求めて学ぶ生徒」の育成に努めております。

また、学力の向上には家庭学習の習慣を身につけることも重要な要素になります。そのために、毎日学年単位で宿題を出し、ご家庭での点検や励まし、さらに生活習慣の改善をお願いし、「毎日家で勉強する子」、「自分の学習を振り返り進んで行う家庭学習」を目指してきました。

さらに、定期テスト前の学習ガイダンスや学習相談を工夫し、自ら進んで計画的に学ぶ「学習習慣の形成」を図るとともに、夏休みの補習学習の工夫、帰りの学活前のSS(ショートスタディー)や、そのまとめとしてのLS(ロングスタディー)を設定し、苦手教科の克服や基礎・基本の定着を図って参りました。言い換えれば、自分なりの「学び方」を身につけるように指導して参りました。



学校評価の子どもたちのアンケート調査では、おおむね「授業の内容がよく分かる」と答えた生徒が、平成 22 年度(61%)、23 年度(70%)、24 年度(74%)と、わずかながら上昇してきました。また、「自分の将来の生き方(進路)を考えることができた」は、平成 22 年度(57%)、23 年度(60%)、24 年度(68%)、「毎日家庭学習を行っている」は、平成 22 年度(35%)、23 年度(68%)、24 年度(71%) (平成 22 年度の質問は、「毎日 2 時間以上の家庭学習を行っている」であった)となり、どれもわずかではありますが、向上してきています。

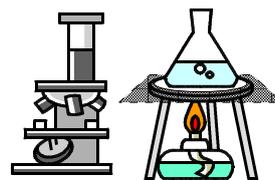
今、子どもたちは授業に真剣に臨み、「学ぶ意義」や「学び方」を自分なりにとらえたり、身につけたりしてきているのではないのでしょうか。ここに、保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げますとともに、次年度の取り組みについて提案させていただき、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



さて、学力向上のための取り組みについて、子どもたちの声はどうかと言いますと、まず、「毎日出される宿題」については、成果があったので「継続してほしい」と、成果はなかったので「なくても良い」が、ちょうど半々に分かれました。継続組の理由は、学習の仕方や自分に合った方法が分かり、習慣が身につくから。一方、廃止組は、形式的、作業的である、自分でやっているのに迷惑、めんどろである、というのでした。

そこで学校では、「毎日出される宿題」は、家庭学習の習慣化や自分に合った学び方を身につけるといった目的に対して、成果が出ていると考えられるので継続すること、ただし、すでに自分で進んで取り組んでいる子どもたちには、学習内容を自分で選択できるように学年の宿題内容を改善して実施することとしました。

また、子どもたちは帰りの学活前のSSや年間20回程度実施したLSについては、SSは学力向上に役立つというより落ち着いた帰りの会の取り組みに成果があったこと、一方LSは、苦手な教科の克服や学習への意欲、自信を高める等、学力の向上に役立ったと考えていること。そこで、次年度は、SSについては取りやめることにし、LS一本に統一しました。LS(1回20分)を、週1回、年間30回を計画し、家庭学習(学年の毎日の宿題)とリンクさせたテスト形式等で実施することとしました。その他には、定期テスト前の部活動停止期間は本年度3日~7日間ありましたが、これをすべて3日間とし、部活動時間を確保するとともに、毎日の家庭学習やテスト前の家庭での学習を、普段から計画的にしかも効率よく進めるように指導を行うこととしました。



さらに、将来の夢を育てる職業講話や進路講話については、幅広い考えを持つことができた、生き方を考えるきっかけとなった、一流の人から良い刺激を受けた等、多くの子どもたちがその成果を認めていました。そこで、職業講話と進路講話の二つをまとめて「夢講話」と命名し、全学年共通で年間2回、学年単位では学年の発達段階や課題に応じて1回から2回実施し、3カ年で計10回程度を教育計画に組み込むこととしました。



このように教師の工夫ある授業を中心とし、生徒が自らの生き方を求めて「学ぶ意義」をとらえ、学校の授業に集中して臨み、しかも、家でも計画的に学習に取り組む、分からないところは機会を捉えて積極的に質問する等、「学び方」を身につけた「意欲的に学ぶ姿」を目指します。これが、次年度本校の学力向上のための取り組みです。

お子様の学習が、「自らを振り返り、進んで行う計画的な学び」となる一番のサポーターは、やはり「おうちの方々」です。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

インフルエンザにご注意ください。

1月18日に山田中学校のブログにも掲載しましたが、インフルエンザが大流行しており、県健康福祉部医療健康局疾病対策課から「危険管理情報」が出されました。

「うつらない」「うつさない」ための 「うがい」「手洗い」「咳エチケット」の励行

をお願いします。

◇手洗い

石けんやハンドソープを使って最低15秒以上、手のひらだけでなく、手の甲、洗った後は、清潔なタオルなどで水分を十分に拭き取りましょう。

◇咳エチケット

人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクを用意しましょう。

〈インフルエンザに関する情報〉は

- ・静岡県健康福祉部 感染症関連情報

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ad/kannsensyoujyouhou.html/>

- ・厚生労働省 平成24年度 今冬のインフルエンザ総合対策

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>

- ・国立感染症研究所 感染症情報センター

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/diseases/a/flu.html>

などを参考に、最新の情報を入手して、予防に役立ててください。

